

すずらん通信

Vol.43
令和4年
1月31日
発行

2022年

新年明けましておめでとうございます。コロナが終息することを願いつつ、スタッフ一同、今年もよろしくお祈りします。 (中村 鳴美)



ひきこもり地域理解促進事業

12月18日、毎年恒例となりました、弊法人主催、神奈川県立青少年センター共催となる心理カウンセラーの先生による「ひきこもりの理解と支援と現状」の講演会を開催しました。今回は、年末の開催となりましたが、それでも15名の方に参加していただきました。本当にありがとうございました。

ひきこもり支援は、今後は鈴蘭学園の独自色として事業展開していくことも視野に入れています。

(中村 鳴美)



教員実習の受け入れ

神奈川県教育委員会より、次年度の教員実習の受け入れ要請がありました。これは、すでに教壇に立っている教員を対象に、不登校支援の現場での実習

を行うものです。民営のフリースクールが受け入れ先となり、特に相模原市で行われるのは初めてとなります。

期間は本年4月より来年3月までとなり、高校の先生が実習される予定です。今からとても楽しみです。 (中村 鳴美)

フリースペースたまりば

30周年記念シンポジウム

1月14日、川崎市男女共同参画センターにて開催されました。パネリストには、テレビなどの場でも活躍されている熊谷晋一郎様 (小児科医)、澤田智洋様 (コピーライター)、向谷地生良様 (ソーシャルワーカー) の3人が登壇して、たまりばの創設者・西野博之さんが進行役を務めました。

テーマは「誰ひとり取り残さない～弱さでつながる社会へ～」でした。実のある議論に引き込まれてしまい、あっという間の時間でした。心に響く言葉もたくさん飛び交っていました。その中でも、「遊びを通して笑い・元気・ワクワク感を持ち続け、幸せになるような働き方をしていくことが、誰一人取り残されずに社会とつながる基となるのではないのでしょうか」という言葉が印象的でした。ただ、これを実現するためには、大人が率先して笑い続けなければならないのではないか、という意見もありました。



今年、鈴蘭学園は15周年記念を迎えます。たまりばの西野さん、これから先も同じ不登校支援者として、共に歩いていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。(中村 鳴美)

一緒に遊ぼう

新しいボードゲームを買いました。今、はまっているのが、百人一首の坊主めくりです。本来ならば、上の句を詠んで下の句を取ると言う百人一首ですが、みんな百人一首自体よくわからず、「なんなの?」という世界なので、一番簡単な遊びの坊主めくりをやりました。「あ、坊主がでた〜!」と言って、白熱していますが、終わった後に、「坊主、坊主と言うとかわいそうだよ」と言うので、「お坊主」にしましたが…、何だかしっくりいきませんね。

(中村 鳴美)



リリーベル活動報告

皆さま、あけましておめでとうございます。皆様の支えがあり、リリーベルはまた新たな一年を迎えることが出来ました。改めまして、ありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

12月上旬から外活動の新たな枠として、場所を借りて畑の活動を始めました。

今回は小松菜を種から育ててみることにしました。みんなで土を耕し、肥料を混ぜ、種を蒔きました。この時期は寒いので黒マルチ(ビニールのフィルム)と不織布を使い、温かくしています。

また、イチゴの苗を利用者の方から分けていただきました。イチゴは畑とプランターでそれぞれ育ててみることにしました。初めての試みなのでちゃんと育つかドキドキしていますが、おいしい小松菜とイチゴができるのを楽しみにしています。

12月中旬に、カラオケに行きました。新型コロナウイルスがある程度落ち着きを見せたのと子どもたちの希望もあり、消毒の徹底や歌う際の場所を決めるなど、できる限りの感染対策を行いながらカ

ラオケを楽しみました。歌う曲のジャンルや年代は様々ながらも、みんなの歌はそれぞれに個性があり、良さがあり、楽しさがありました。歌を歌うのはもちろんのこと、他の人の歌に合いの手を入れたり、手拍子で盛り上げたりと、みんなで行くからこそそのカラオケの楽しさを満喫しました。

1月の活動では、初詣に近くの村富神社に行き、お参りをしたり、お汁粉を食べたりするなどお正月ならではの活動をしました(飲食の活動は蔓延防止等重点措置の適用前の活動です)。



1月初めは雪の降る日もあるなど、とても冷え込む日々が続きました。雪が降った日は雪かきを一緒にやったり、雪を使って白兔を作ったり、雪に絵具を垂らして色付けし、きれいに飾り付けをしたりと、雪の日ならではの活動をしました。久々の積もるような雪の日に子どもたちも楽しそうにしていました。



1月中旬ではアルファリンク相模原のマルチコート借りて、フットサルやバスケットボールを楽しみました。広いコートでシュート練習やチームに分かれてフットサルやバスケットボールの試合をしました。時間いっぱい思い切り体を動かしたので、気持ちよく汗をかきました。そのおかげもあって私は次の日筋肉痛でした。(佐野 拓哉)



中村のとっても嬉しかった話

1月6日になって今年度初めての雪が降りました。その日は、2人の生徒が来ていて、2人ともインドア派で外に出たがらなかったのに、雪を見て「外で遊ぼう、雪合戦をしたい!」と。最初は余り積もらないのではないかと思っていましたが、みるみるうちに積もり、雪遊びができる程となりました。いつの時代でも子どもにとっては、いや大人でも真っ白い雪は、空からの新鮮な贈り物として、何だかワクワクしてくるものですね。子どもたちは、スタッフと玄関先で雪と戯れていました。寒い中でも笑顔は素敵でした。子どものお母さんが迎えに来た時、「今日は雪の中外で雪合戦などして楽しく遊んだんですよ」と話したら、「え!」と驚かれました。「外には絶対出たがらないのに外で遊んだんですか?」と。やはり雪には、魔法があるのですね。雪の中での素敵な笑顔が、お母さんにも届きますように。



◆2月の予定◆

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 開園日	2 開園日	3 開園日	4 開園日	5 県主催不登校相談会個別相談(オンライン)
6	7 開園日	8 開園日	9 開園日	10 開園日	11	12 電話相談 面談・オンライン相談(予約)
13	14 開園日	15 開園日	16 開園日	17 開園日	18 開園日	19 面談・オンライン相談(予約)
20	21 開園日	22 開園日	23	24 開園日	25 お楽しみ会 (多摩動物公園)	26 電話相談 面談・オンライン相談(予約)
27 電話相談	28 開園日	1	2	3	4	5

お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL : 042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。